

## 「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム (平成17～18年度)」の進捗状況及びそれに対する評価

当金庫の標記の「地域密着型金融のアクションプログラムに対する取組み」については去る8月31日に当局へ提出いたしました。個別項目に係る具体的な行動計画につきましては、平成15年度～16年度までの2年間で行った「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を踏襲・継続してありまして、今年度より新たにスタートいたしました「地域密着型金融推進計画」を更に強力で推進して行かなくてはならないとの認識を役職員全員に周知徹底致しました。

なお本計画の平成17年度上期における取組状況等につきましては、本計画書(2年間)の策定にあたって理事長から部店長会議等において個別項目毎に金庫として如何にして取組んで行かなければならないかなど再度その重要性について説明するとともに、目標必達に向け役職員が一丸となって邁進して行くよう明確に指示され、本部を含めた各部課店間において横断的に取組みを実施してまいりました。

平成17年度上期における「地域密着型金融推進計画」の大項目毎の進捗状況と、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題等具体的な内容については別紙を参照して頂きたいと思いますが、主な取組み実績につきましては以下のとおりでございます。

### 1. 新型融資商品の発売

#### 「とうえい商店街活性化ローン」

地元商店街の活性化資金として既存商店街はもちろん、新規出店等の起業家のお客様を側面からサポートさせていただきます。

### 2. 産学連携について

地元唯一の大学である東京聖栄大学と、地域への貢献・活性化を目的とした業務連携に向けての意見交換などを実施致しました。

### 3. ガバナンスの強化

従来から営業店窓口を設置してあります「ご要望・ご意見投入箱」に加え、旅行や盆踊りなど各種行事への参加者に対して、アンケート等を実施し、金庫経営に反映させるような態勢を整備しました。

#### 4. 基本業績目標について

当金庫の営業地区（都内10区、千葉県5市、埼玉県2市）

東京都 葛飾区、江戸川区、江東区、墨田区、足立区、千代田区、  
中央区、港区、台東区、荒川区

千葉県 市川市、船橋市、鎌ヶ谷市、浦安市、松戸市

埼玉県 三郷市、八潮市

上記のとおり当金庫の営業地区は一都二県に亘っております。

下記に記載いたしました【基本業績】につきましては、出資会員数は、堅調に推移いたしておりますが、全体の預貸率につきましては0.47%減少いたしました。また、地域内の預貸金シェアは17年3月末日に対し、預金シェアに特段大きな変動等はありませんでしたが、貸出金シェアにつきましては、大口取引先企業の本社登記の異動等の要因により0.6%となっておりますが、引き続き地域内シェアの向上に努めてまいります。

#### 【基本業績】

	17年3月末日	17年9月末日	増減	平成18年3月末日 (目標)
出資会員数	11,153人	11,241人	88人	12,000人
全体の預貸率	50.36%	49.89%	0.47%	52.61%
総預金に占める地域内の預金構成比	92.7%	92.6%	0.1%	93.2%
総貸金に占める地域内の貸金構成比	94.1%	93.5%	0.6%	95.0%
自己資本比率	8.41%	8.33%	0.08%	9.0%台を目指します

上記の基本業績目標は、将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化等による不確実性を内包しております。

ここで示す地域内とは、当金庫店舗所在地〔葛飾区、江戸川区、江東区、浦安市（一部地域を除く）〕を表します。

平成17年12月8日

東栄信用金庫

理事長 小川 恒明